

1. 日本の医療技術普及を目指した タイにおける臨床工学技士養成システムの確立

学校法人 順正学園 九州保健福祉大学

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

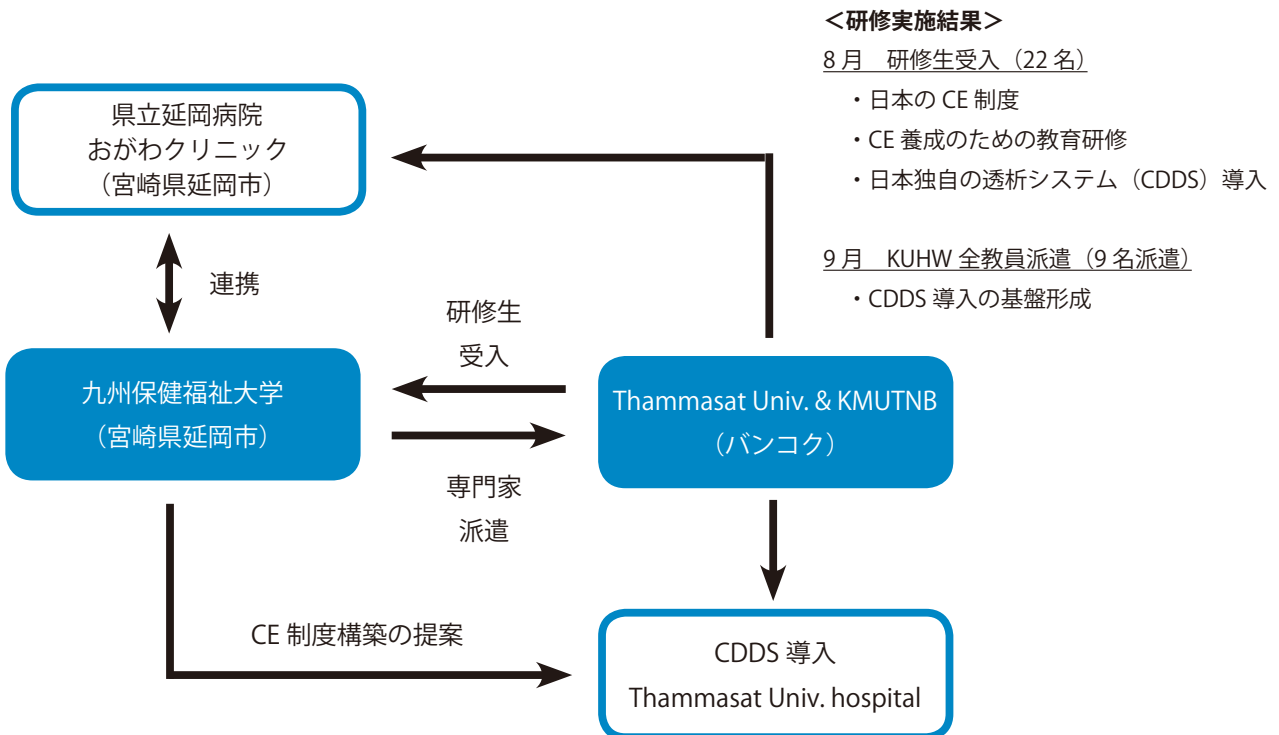
日本には医療機器のメンテナンスを病院内で行う臨床工学技士（CE）がいる。海外ではこのような資格はないため医療機器を取り扱う CE はタイでも求められている。

【活動内容】

CE が適切に医療機器を取り扱うことで日本の血液透析医療技術レベルは世界でトップである。九州保健福祉大学（KUHWS）では、CE に必要な医療技術教育のノウハウを持ち合わせている。タイ国 2 大学教員を KUHWS において研修し、その後 KUHWS 臨床工学科全教員をタイへ派遣しタイ国に CE 制度を作る基盤形成を行った。

【期待される成果や波及効果等】

タイ国 Thammasat Univ. と King Mongkut's University of Technology North Bangkok（KMUTNB）と教育協定を締結し、タイに CE 制度を作る基盤形成と日本独自の透析システム（CDDS）を導入する環境を構築した。今後日本製医療機器が導入される波及効果が期待できる。



CDDSについて



透析装置

* RO：逆浸透

事業の成果



- ▶ 本事業で日本の透析システム（CDDS）の有用性が浸透

- ◆ タイで糖尿病による透析患者数の増加

- ▶ タイの教育機関（大学）で日本製医療機器進出の基盤形成



- ▶ タイはASEANの中心であり、タイに臨床工学技士のような国家ライセンスを制定すれば日本の医療機器はASEANに浸透する

事業の成果



国立Thammasat大学

国際医学部（CICM）があり、Renal Replace Technologistを養成するコースを開設。日本に臨床工学技士国家資格がなかった時代と酷似している。



KMUTNB

タイでバイオメディカルエンジニア（BME）を養成している大学の一つ。これまでバンコク市内でおよそ400名のBMEが病院に就職。大学でのシラバスは日本の臨床工学技士養成校に類似している。

事業の成果



建設中のThammasat University Hospital



KMUTNB

両大学に日本の透析システム導入準備を構築した

今後の課題

- 教育機関用CDDS導入資金
教育機関にCDDSを導入することで両国にWin-Winの関係構築
- KMUTNB内企業スペースに入る日本企業
教育機関に日本製医療機器メーカー参入によりWin-Winの関係構築
- BMEから臨床工学技士制度発足の展開
Thammasat大学にRenal Replacement Technologist発足

日本式医療のパッケージ化



血液透析を主とした医療機器
CDDSをはじめとする日本製医療機器の輸出
トレーニングから輸出までをパッケージ化